

アジアにおける日本の自動車産業

1998年1月13日

最近の日本の自動車産業の状況について見てみよう。「輸出については1985年より一貫して10年連続減少中。特に、1993年以降の大幅な円高に伴い、減少幅が拡大しており、1995年は379万台と、ピーク時673万台から44%マイナス。要因は、北米を中心とした減少。また、伝統的完成車市場である豪州、中南米、中東といった地域において、低価格を武器とした韓国車の台頭がみられるとともに、日本車の不振という状況が見られる。輸入車については、円高、販売網の整備等により近年拡大傾向にあり、輸入乗用車販売台数は1995年で36万2千台となり、過去最高であった1994年に比べ31.2%増。1996年に入っても、輸入車の好調は継続しており、1996年4月だけで見れば、我が国登録乗用車販売の12.2%を占めるに至っている。国内生産においては1350万(1990年)から1020万(1995年)へと5年連続減少しており、ピーク時に比べ300万台以上も減少し、1980年の水準をも下回っている。これは、国内需要不振、円高等による輸出減の相乗効果によるものであり、1996年に入っても、対前年比割れの状況にある。」(注1)このように日本の自動車産業は、国内の経済不振、海外の自動車の流入等により不安定な状況がみられる。それに対し、近年アジアの自動車産業が急速に伸びてきている。

アジアが近年になって急速な発展をとげているにはどのような理由があるのだろうか。「アジアにおいては、すでに、多くの国が、1人当たりのGNPにおいて、1000ドルを超えている。一般に1人当たりのGNPが1000ドルを超えると、モータリゼーションは急速に進展するといわれている。これは、需要と供給の両面の要因から自動車産業の急速な発展を推進する要因が強いからである。国内の購買力も一定の水準以上に拡大していることをこれは物語っている。」(注3)すなわち、アジアの自動車産業は他国からの技術移転だけでなく、各国々における経済成長が著しく伸びたので、大きな発展をとげたとおもわれる。

それでは日本はアジアの自動車産業に対してどのように貢献しているのだろうか。「日本はアジアの民族企業に対する直接投資による資本参加という形態を中心として、経営戦略のみではなく、技術移転も急速に推進してきた。また、日本の技術の受け入れ体制が整備されているアジアにおける日本技術に対する吸収力は極めて大きくなってきた。以下のような形で我が国企業による現地企業に対する経営技術の移転が進展している。

- (1)多能工化、QCサークルによる合理化、品質改善などが進められている。
- (2)外注管理、競争発注などにおける購買システムの合理化の進展。
- (3)下請け企業間における協力会の形成。現地サプライヤーの育成。
- (4)日本人経営者、技術者の派遣により、現地工場における日本的生産システムの移植の進展。」(注2)

以上にみるとおり、日本の産業はアジアの自動車産業に対して自己の利益のみだけでなく、資本や技術を与えている。

しかし日本の支援するアジアの企業においていろいろな問題を抱えている。その後の日本はどのような体制をとるであろうか。まず、「日本企業並びにその指導をうけている企業に対する技術移転は急速に進展しているが、それ以外の企業に対する技術移転の進展はみられない。また、部品企業においても、以下のような多くの問題を抱えており、その先行きは極めて不透明といえよう。

- (1)鋳造、鍛造の設備を備えた部品企業が少ないこと。
- (2)大型のプレス機械が少なく、大量生産の体制が準備されていないこと。
- (3)組立工程などにおける流れ作業方式の確立がみられないこと。

以上に指摘したとおり、部品企業を中心として、アジア企業には問題が多い。」(注4)しかし、今後急激な発展を予想されるアジア諸国に対しては、日本の技術移転はますます進展するものとおもわれる。

今後、日本の自動車産業はどのように運営されるべきであろうか。「今後世界的に市場が伸びると思われるアジアを中心とした発展途上国において、自動車産業の競争力強化、環境問題にも配慮した健全なモータリゼーションが行われていくことが重要であり、我が国としても政府間協力、産業協力を進めていくことが必要である。」(注5)このように自動車産業の発展への道は前途多難なものではあるが、今後、経済的に伸びる可能性のある他国と関わりを大事にするべきである。

- 注1) 山田仁 「国内自動車産業の動向と課題」
月刊・貿易と産業 1996年 6月号 p.29
- 注2) 影山喜一 「アジアにおける自動車産業の発展」
世界経済評論 1996年 1月号 p.61
- 注3) 影山喜一 「アジアにおける自動車産業の発展」
世界経済評論 1996年 1月号 p.61～p.62
- 注4) 影山喜一 「アジアにおける自動車産業の発展」
世界経済評論 1996年 1月号 p.62
- 注5) 山田仁 「国内自動車産業の動向と課題」
月刊・貿易と産業 1996年 6月号 p.30

文献リスト

- 山田仁 「国内自動車産業の動向と課題」 月刊・貿易と産業 1996年
影山喜一 「アジアにおける自動車産業の発展」 世界経済評論 1996年